

# 大阪の銀行遺構と足跡を辿り大阪を懐古する

柳原 信雄

## 【目的】

明治時代以降、大阪では多くの銀行が設立されたが、大半の銀行が破綻あるいは合併などにより名前が消えている。当時の銀行は大阪の著名な実業家や地域の素封家などが数多く関わっており、又場所も一等地の場所が多く、現在も何らかの形で銀行遺構が残っているものと思われる。数多くの銀行遺構と足跡を辿ることで、銀行が果たした大阪文化、商業面での貢献度が見えてくる。銀行の歴史と遺構への関心度を高め、大阪観光面での新たな発見をすることが、今回の研究目的である。

## 【内容】

### 1 大阪府各地域の銀行変遷を調査

大阪府各地域(泉南、中河内、南河内、豊能)の、名前の消えた銀行の変遷及び痕跡、銀行跡地の現状、現存している旧銀行建物を調査実施した。変遷状況の調査で、昭和時代の国策による銀行集約の過程が見えてくる。

### 2 第十七国立銀行、第十八国立銀行の大阪との関わりを調査

十七国立銀行(佐野屋橋との関わり)、十八国立銀行(五代友厚との関わり)を調査。

### 3 日本興業銀行大阪支店ビル、三菱信託銀行大阪支店について調査

日本興業銀行旧建物遺構、竹中工務店御堂ビルと三菱信託銀行の関係を調査。

### 4 銀行関わった野外彫刻について調査

御堂筋、千里ニュータウン地区の公園、中之島公園の野外彫刻と銀行関わりを調査。

## 【結果】

### 1 銀行関連の野外彫刻めぐり推奨(千里ニュータウン野外彫刻マップ作成)

案内板などはないが、迷いながら見つける楽しみがある。

### 2 銀行痕跡は、意外な場所で当時の世情を反映している。

神社への奉納物、公園及び御堂筋の野外彫刻に残る銀行の名前から、当時の時代背景が見えてくる。

今後は大阪の道沿い(御堂筋、堺筋、本町通、今橋通などの道)での銀行変遷を中心に、研究を続けていきたい。

(参考文献など)

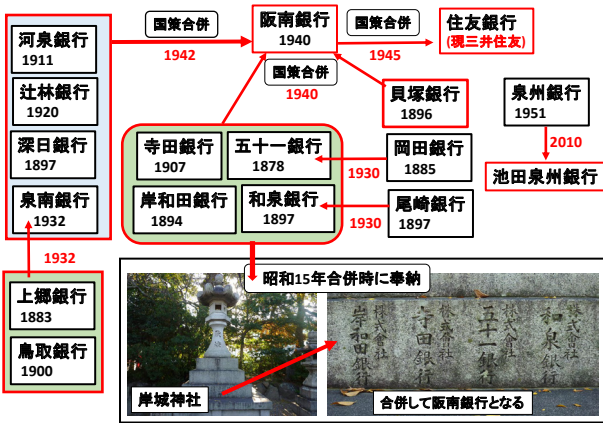
岸和田市史 池田市史 松原市史 藤井寺市史 富田林市史 阪南町史

日本興業銀行史 十七銀行史 十八銀行史 住友銀行史 三和銀行史 大和銀行史

三菱信託銀行史 竹中工務店社史 大阪春秋 32号 銭高組社史 大阪の橋(松村博)

千里南公園の文化紹介(千里南公園文化実行委員会) 銀行変遷データベース

泉南地区の銀行変遷(国策により住友銀行に集約)



岸和田市の銀行レトロ建物



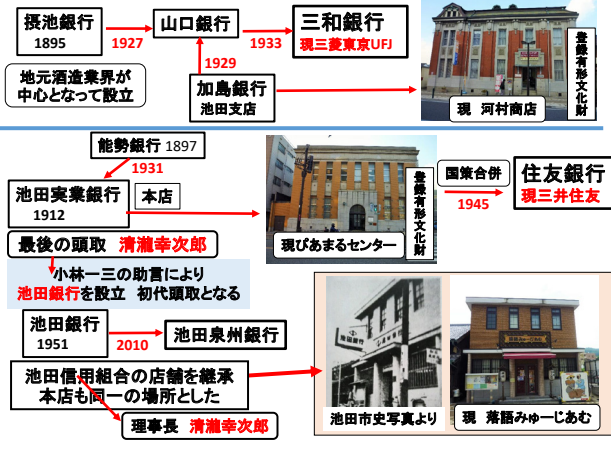
泉南地区にあった鳥取銀行と尾崎銀行



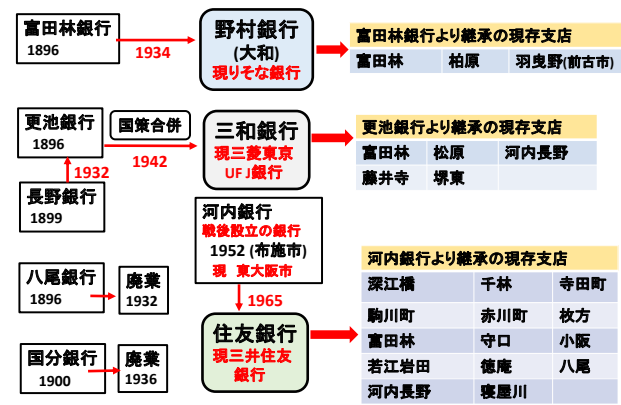
尾崎村と銭高善造



豊能地区(現池田市の)銀行変遷



中河内 南河内 銀行変遷



### 更池銀行と伴林氏神社

**更池銀行**  
中河内郡布忍村(現松原市)  
頭取 中野新十郎  
1896年(明治29年)設立  
1942年(昭和17年)  
**三和銀行と合併**  
伴林氏神社に解散記念として社号標を奉納



#### 伴林氏神社

**祭神 道臣命**  
軍事を司った大伴氏の祖神  
昭和初期 道臣命を祀る唯一の神社として陸軍が折紙をつけ 戦時中は西の靖国神社と称されていた

#### 西の靖国神社の痕跡



### 旧国分銀行(富田林寺内町に残るレトロ建物)



1923年(大正12年)頃竣工  
1936年(昭和11年) 国分銀行廃業  
その後三和銀行富田林支店を経て現在は中内眼科医院(登録有形文化財)



**国分銀行**  
南河内郡国分村(現 柏原市)  
1900年(明治33年)設立  
1936年(昭和11年)廃業  
拓植三悦が個人創業  
三悦の祖父は立教館を創立した国学者 拓植萬城(頼山陽門下の四天王)



### 第十七国立銀行(福岡銀行の前身)と 佐野屋橋

1877年(明治10年)設立  
同年中之島に大阪支店を設置  
1880年(明治13年) 大阪に本店を移転  
1945年(昭和20年) 福岡銀行設立

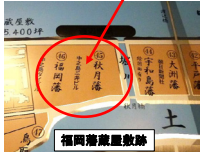
旧福岡藩黒田家  
筑前商人が中心となり設立  
初代頭取 佐野弥平

3年後本店を福岡に復帰

嘉穂銀行 筑邦銀行  
福岡貯蓄銀行と合併

初代頭取 佐野弥平  
筑前甘木(現朝倉市)の豪商  
水廻問屋  
福岡藩の御用商人

佐野 黒田  
野 田  
彌 一  
平 雄  
御 老  
町 職  
用 商  
行 出 資 者  
名 簿 の 一 部  
十 七 銀 行 史 より

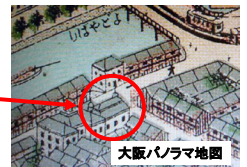


宮本又次氏  
鎌谷の佐野屋橋付近には  
堀屋が多く 佐野屋橋は  
筑前甘木の 佐野弥平が  
架けたものである  
(大阪春秋33号)

佐野屋橋 きのやばし  
佐野屋橋は、一説によると幕末の豪商佐野弥平が架けたといわれる。しかし明治元年(1867)の福澤(富坂大坂之図)にすでに同名の橋が見え、元禄年間(1688-1704)の記録によれば、橋長17間半(5分、約32メートル)、幅員約3間半(約6メートル)の木造橋であった。江戸時代、佐野屋橋の周辺には酒蔵が密生し、各種の名石や石灯籠・石塔が石目までが山積みされ、右岸側を歩けば、北の西側には大坂城跡の御蔵跡、大坂城跡の跡と見られる長瀬川(東瀬)の石灯籠跡とともに湖岸が臨み得た。第二次世界大戦空襲に焼失された佐野屋橋は、三洋館のモデルとして新築されたが、長瀬川の埋立により橋脚が消失した。佐野屋橋 顕彰碑 大阪市

### 十八銀行大阪支店(本店長崎市)

1877年(明治10年) 長崎の豪商永見伝三郎らが  
第十八国立銀行設立  
1894年(明治27年) 永見米吉郎(伝三郎の弟)創業の永見商店の場所に大阪支店を設置 (現在は西心斎橋に移転)



#### 五代友厚と永見米吉郎

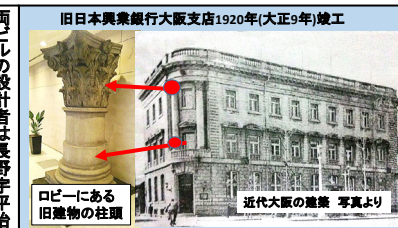
永見米吉郎は五代友厚の盟友であり大阪株式取引所設立時には肝煎として名を連ねている

米吉郎と伝三郎は五代の墓所に石塔を建立



### 日本興業銀行大阪支店

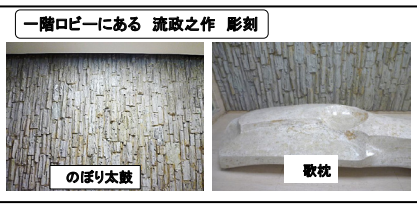
1914年(大正3年) 大阪支店開設 (中之島)  
1920年(大正9年) 高麗橋に新築移転  
1956年(昭和31年) 店舗建替の為今橋に移転  
旧三和銀行本店ビルを  
仮店舗として賃借  
1961年(昭和36年) 大阪興銀ビル竣工



### 竹中工務店 御堂ビルと三菱信託銀行



**三菱信託銀行**  
(現 三菱UFJ信託銀行)  
1965年(昭和40年)より  
2007年(平成19年)まで  
御堂ビルに入居していた  
UFJ信託銀行と合併により  
現在は伏見町に移転



### 銀行寄贈の御堂筋彫刻 御堂筋西側

御堂筋沿道企業等の寄贈により世界的に一級品の彫刻を29点設置(内9点が銀行寄贈)

① 東京銀行寄贈 現三菱東京UFJ銀行	② 富士銀行寄贈 現みずほ銀行
③ 日本興業銀行寄贈 現みずほ銀行	④ 大和銀行寄贈 現りそな銀行

### 銀行寄贈の御堂筋彫刻 御堂筋東側

① 第一勧業銀行寄贈 現みずほ銀行	② 三和銀行寄贈 現三菱東京UFJ銀行
③ さくら銀行寄贈 現三井住友銀行	④ 日本長期信用銀行寄贈 現新生銀行
⑤ 住友銀行寄贈 現三井住友銀行	

### 千里ニュータウンの銀行寄贈セメント彫刻

千里野外彫刻展 1967年(昭和42年)千里南公園

彫刻展に出展のセメント彫刻を終了後 各地区の公園などに設置 銀行等多くの企業がスポンサーとなった。旧小野田セメントが協賛

住友銀行寄贈 おぼろ 辻智堂	三井銀行寄贈 腕をくむ 佐藤瑞彦
三和銀行寄贈 翠 安田周三郎	大和銀行寄贈 番人 五十嵐芳三

### 千里ニュータウン完成記念の銀行寄贈彫刻

1970年(昭和45年)ニュータウン完成記念として各地区にモニュメント5点を設置 (1点は撤去 1点は北千里駅前広場に設置)

3点を公園に設置

あほんだら獅子 大和銀行寄贈	日と風と雨に 関西電力寄贈	風の道 千里開発センター設置
千里中央公園 流政之	千里南公園 辻智堂	千里北公園 新宮晋

### 堀田庄三と中之島公園野外彫刻

堀田庄三 1899(明治32年) ~1990年(平成2年)  
住友銀行の頭取を1952年(昭和27年)から19年勤め法皇と称されていた

中之島公園  
緑の賛歌 浅井鐵二郎氏寄贈  
本郷新作 1973年(昭和48年)  
太陽の母子像 本郷新作 1976年(昭和51年)

### 終わりに

●野外彫刻千里ニュータウンコースマップ作成  
NO1 NO2 作成(別紙添付) 万博記念公園も近隣にあり 太陽の塔公開との相乗効果を期待

●提言 御堂筋彫刻に説明パネル設置 (現状)

銘板 作品名 作家名 制作日のみ

説明パネル設置 作品名 作家名 作品の説明 作家の説明 寄贈者名 設置日 制作日

作家については大阪にある他の作品も説明 多くの場所への来訪が期待できる

御堂筋彫刻銘板 啓示 日高 正法 Revelation Seiho Hidaka 1993年

日高正法 平和の塔 女神像 難波高島屋前